

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和6年1月29日

協議会名: 宇多津町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(香川県)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
宇多津町	【宇多津町コミュニティバス】 マルナカスーパーセンター～宇 多津町役場～マルナカスー パーセンター(JR宇多津駅含 む)	・高齢者を中心とした住民、利用 者から、「時刻表がわかりづ らい」「どのように乗り継いだら よいかわからない」というご意 見があり、時刻表の記載をわ かりやすく、文字も大きく変更し た。変更後は、バス車内の他、 町内施設25箇所に時刻表(パ ンフレット)の設置を依頼し、周 知を図った。 ・令和5年10月からの坂出市循 環バスの宇多津町内への乗り 入れに伴い、高齢者を中心とし た住民、利用者から、「町外の 医療機関へ行きたいが、乗り継 ぎ方法がわからない」等のご意 見があり、マイ時刻表のフォー マットを作成した。窓口で相談 に来られた方に、乗り継ぎ時間 等を説明の上、乗降停留所・時 刻を記入し、お渡ししている。ま た、乗り継ぎ方法を記載した時 刻表(チラシ)を作成し、町広報 での周知の他、坂出市内の薬 局にチラシ・マイ時刻表を持参 し、設置及び乗り方のわからな い人へマイ時刻表に記入して いただけるよう、お願いにま わった。	A 計画通り事業は適切に実施 された。	【目標達成率】127.2% (目標: 25人/日) 【利用者数】31.8人/日平均 (対前年比: 163.1%) 【収支率】9.0% (対前年比: +1.45%) 【1便平均利用者数】 ・南北コース右回りルート 3.4人 ・南北コース左回りルート 2.1人 ・東西コース右回りルート 2.6人 ・東西コース左回りルート 3.5人 利用者数1日平均25人の目 標に対し、31.8人と目標を上 回った。令和4年5月の運行 ルート・時刻表の変更、同年7 月の通園支援事業開始以 降、増加傾向が続いている。 これも、利用動向、ならびに 利用者のニーズを把握すると ともに、利用者ニーズに対応 したきめ細かなサービスの提 供などを行ってきた成果であ ると考えている。	今後も利用動向、ならびに利用 者のニーズ(医療機関への通 院、通勤・通学ニーズ、買い物 など)を把握するため、アン ケートの実施回数を増やし、利 用者ニーズへ対応した時刻表・ 運行ルートの整備に努める。ま た、利用者が利用しやすい、わ かりやすい公共交通になるよう 努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画(又は地域公共交通計画)との関連について

令和6年1月29日

協議会名:	宇多津町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金(香川県)
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	宇多津町は、瀬戸内海に面した香川県のほぼ中央にあり、東は坂出市、西は丸亀市に囲まれた人口18,388人(令和5年4月1日現在)、総面積8.10km²の町です。北部に市街地、南部に田園地帯が広がり、これを取り囲むように青の山、聖通寺山、角山などの山々が位置しています。本町の市街地は古くからの伝統と趣を残す既成市街地と、かつての塩田跡地を埋め立てて形成された新宇多津都市の特徴ある2つの顔を有しています。 本町の交通機関は、JR宇多津駅を中心とし、隣接している市のコミュニティバス、タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっており、宇多津町コミュニティバスは、令和2年10月より試行運行中であり、主に車を運転できない高齢者等の多い南北線沿線の住民にとって、医療機関、駅周辺及び商業施設の多い北部(東西線沿線)までの移動手段として、また生活に必要不可欠な交通機能となっています。 今後、さらなる高齢化が進んでいく中において、交通弱者の公共施設及び病院、スーパー等の商業施設への移動手段の確保が課題であり、これらの解決を目的として、地域公共交通確保維持事業により、効率的かつ効果的な公共交通ネットワークを確保・維持していくことが、宇多津町コミュニティバスの路線を確保・維持につながり、住民の生活交通手段を存続させていくことが公共交通の目的と考えています。

宇多津町

地域内フィーダー系統
事業評価(令和5年度)

宇多津町基礎データ

人口:18,457人(令和5年9月1日現在)
面積:8.1平方キロメートル

地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

別添1-2参照

宇多津町における主な公共交通概要

○鉄道・軌道 JR予讃線

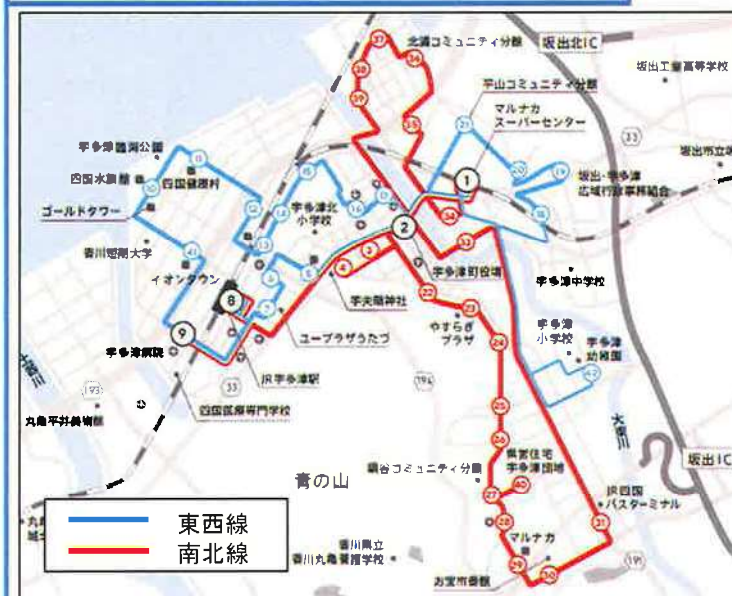
○バス
(幹線)

- ・JR宇多津駅を起点とし、丸亀市と宇多津町主要施設を経由する丸亀市コミュニティバス

(フィーダー)

- ・JR宇多津駅で幹線につながる宇多津町コミュニティバス

宇多津町の公共交通ネットワーク図



地域内フィーダー系統
事業評価(令和5年度)

香川県 宇多津町 四国運輸局 四国地方整備局 琴参バス
(株) (有)大和タクシー 四国旅客鉄道(株) 学識経験者 香川県警
察坂出警察署 香川県中讃土木事務所 宇多津町老人クラブ
連合会 宇多津町自治会連合会 宇多津町身体障害者協会
宇多津町民生委員児童委員協議会

令和5年度の地域公共交通計画策定に際し、住民アンケート等を実施する等、ニーズを把握した上で、必要に応じてサービス内容を見直し(運行ルート、時刻表)、利便性向上を図り、利用者増へと繋げる。

宇多津町コミュニティバス 令和5年度 25.00人/日

- ・宇多津町コミュニティバスの試行運行を実施し、交通空白地帯を解消することで、高齢者等の日常生活に必要な移動手段が確保される。
- ・丸亀市コミュニティバスとJR宇多津駅で接続することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出促進・地域活性化にもつながる。

東西線

南北線

「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

・令和5年9月に住民の移動の実態等を把握するため、1,000人を無作為抽出し、アンケート調査を実施した。
(調査結果について、令和6年1月開催の宇多津町地域公共交通活性化協議会にて協議を行った)

・令和5年10月からの坂出市循環バスの宇多津町内への乗り入れに伴い、高齢者を中心とした住民、利用者から、「町外の医療機関へ行きたいが、乗り継ぎ方法がわからない」等のご意見があり、マイ時刻表のフォーマットを作成した。窓口で相談に来られた方に、乗り継ぎ時間等を説明の上、乗降停留所・時刻を記入し、お渡ししている。

また、乗り継ぎ方法を記載した時刻表(チラシ)を作成し、町広報での周知の他、坂出市内の薬局にチラシ・マイ時刻表を持参し、設置及び乗り方のわからない人へマイ時刻表に記入していただけるよう、お願いにまわった。

自己評価

事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

「定量的な目標・効果」の達成状況

【目標達成率】127.2%

(目標:25人/日)

【利用者数】31.8人/日平均

(対前年比:163.1%)

【収支率】9.0%

(対前年比: +1.45%)

利用者数1日平均25人の目標に対し、31.8人と目標を上回った。令和4年5月の運行ルート・時刻表の変更、同年7月の通園支援事業開始以降、増加傾向が続いている。これも、利用動向、ならびに利用者のニーズを把握するとともに、利用者ニーズに対応したきめ細かなサービスの提供などを行ってきた成果であると考えている。

今後の事業に向けた改善点

今後も利用動向、ならびに利用者のニーズ(医療機関への通院、通勤・通学ニーズ、買い物など)を把握するため、アンケートの実施回数を増やし、利用者ニーズへ対応した時刻表・運行ルートの整備に努める。また、利用者が利用しやすい、わかりやすい公共交通になるよう努める。

その他PRポイント

- ・高齢者を中心とした住民、利用者から、「時刻表がわかりづらい」「どのように乗り継いだらよいか分からない」というご意見があり、時刻表の記載をわかりやすく、文字も大きく変更した。変更後は、バス車内の他、町内施設25箇所に時刻表(パンフレット)の設置を依頼し、周知を図った。
- ・外出をするきっかけとなるよう、コミュニティバスを使ったおでかけコース(町内お買物コース)の案内チラシを作成した。
- ・令和5年8月、地域の体操教室を訪問し、乗り方教室についてのPR及びコミュニティバスを使ったおでかけコース(町内お買物コース)についての説明を行った。